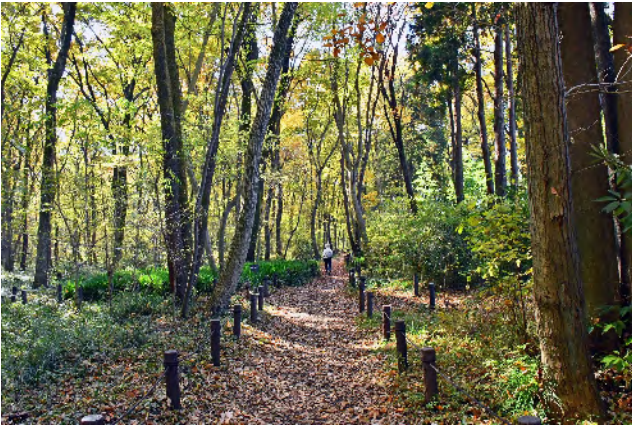




## ・・・大野中地区・・・

大野中地区は、駅周辺に商業地域が形成されている一方で、かながわ美林50選にも選ばれている「木もれびの森」等もあり、みどり豊かな地区でもあります。また、毎年9月には、「相模原よさこいRANBU!」が開催され、市内外から多くの踊り手が参加し、リズムカルな音楽と華麗な踊りに7万を越す市民が酔いしれます。

### 大野中地区優秀賞



【撮影者】諏訪 一紀

【タイトル】晩秋の兆し

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】木もれびの森に差し込む光は、晩秋の兆しを見せ始めた木々を明るく照らし、森の散策を楽しむ人をやさしく包みこんでいた。

#### 審査員寸評

タイトルどおり、木もれびの森の晩秋の気配がきれいに出ています。人物を小さめに写すことで、主題が背景であることがはっきりします。葉の黄と落葉の茶の配色が季節を感じさせてくれます。

【撮影者】村田 行男

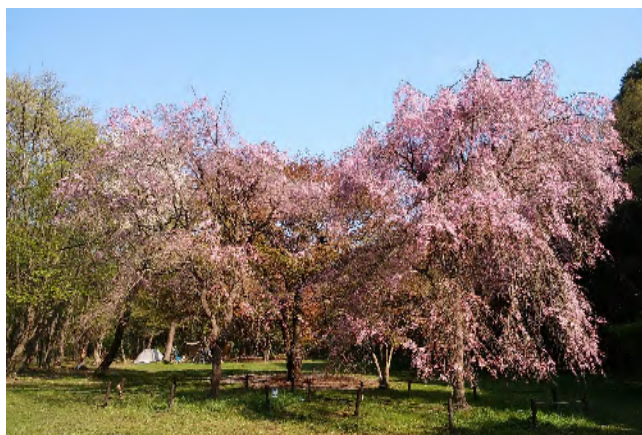
【タイトル】春の訪れ

【撮影場所】木もれびの森近く

【コメント】2月 近隣の梅林です。毎年きれいな花を咲かせます。来年も、再来年も期待したいですね。



第6回「南区私のイチ押し写真」  
応募作品発表



【撮影者】加藤 昌位

【タイトル】さくらの木陰

【撮影場所】木もれびの森中央広場

【コメント】ソメイヨシノが満開を終え、桜の見ごろが一段落した頃に満開を迎える木もれびの森の桜の木。この森は春夏秋冬で様々な表情を見せてくれる私のふるさとです。

【撮影者】鈴木 雅之

【タイトル】晩秋の「こもれびの森」

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】「木もれびの森」は市民の憩いの森として、また「かながわの美林 50 選」にも選ばれています。森の整備は、相模原市と市民（各種ボランティア、自治会等）が共同で進め、春の桜、秋の紅葉はみごとです。特に相模野の面影を残す晩秋の森を、一人で散策するのは瞑想的かつ充実した時間です。（12月撮影）

